

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1755号	氏名	田浦直太
論文審査担当者		主査教授	青柳 潔
		副査教授	河野 茂
		副査教授	兼松 隆之
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、我が国で急増している肝細胞癌について、過去20年間の死亡数と死亡時年齢の推移を肝炎ウイルスの型別に検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 肝細胞癌症例をC型肝炎ウイルス(HCV)又はB型肝炎ウイルス(HBV)の持続感染の有無で分類し、起因関連ウイルス別の死亡数と死亡時年齢を縦断的に解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、HBV関連肝細胞癌の死亡数と死亡時年齢は経年的変化を示さなかったが、HCV関連肝細胞癌の死亡数と死亡時年齢は上昇していることを明らかにし、今後の癌疫学研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はウイルス関連肝細胞癌の予防・治療に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			